第98期
業務報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで



香取神宮式年神幸祭のおらんだ楽隊

このまちといきていく

SSK 佐原信用金庫

目次

目次 …… 1
当金庫の概要／経営方針 …… 2
ごあいさつ …… 3
事業展望及び対処すべき課題 …… 5
業績 …… 7
1. 預金
2. 貸出金
3. 収支
4. 会員数、出資金
5. 自己資本比率
6. 不良債権比率
第98期 貸借対照表 …… 11
第98期 損益計算書 …… 12
剰余金処分 …… 13
第98期 通常総代会決議及び報告事項 …… 14
総代会制度 …… 15
トピックス …… 17
1年のあゆみ …… 21
店舗／店舗外現金自動設備 …… 22

表紙
香取神宮式年神幸祭のおらんだ楽隊

香取神宮「式年神幸祭」は12年に一度の午年に香取神宮を出発した御神輿が利根川を御座船で渡り、佐原へと巡行する壮大な祭礼です。香取市扇島区に伝わる神楽「おらんだ楽隊」は、ハイカラな衣装に身を包み、古来の神楽に洋楽を取り入れた独特の楽曲を奏でながら、約３千人の氏子とともに行列に参加しました。

当金庫の概要／経営方針

当金庫の概要

創　　業	昭和4年3月29日
本　　店	千葉県香取市佐原イ525番地
出 資 金	833百万円
会 員 数	13,379人
預　　金	2,373億円
貸 出 金	1,040億円
純 資 産	106億円
自己資本比率	12.37%
常勤役職員数	194人
店 舗 数	16店

（令和8年3月31日現在）

経営方針

佐原信用金庫は、中小企業及び地域住民のための会員制度による協同組織金融機関です。

昭和４年の創業以来、「地域密着」と「健全経営」を不変の基本方針として事業を展開してまいりました。

今後も、会員及び利用者並びに地域の金融ニーズに適切に応え、「お客様から信頼される」、「お客様に愛される」、そして「お客様のお役に立つ」信用金庫となるように努めてまいります。

ごあいさつ



さわやかな初夏の季節を迎え、会員のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素は佐原信用金庫に対しまして、格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和7年度の我が国経済は、長引くウクライナ情勢に加え米国の相互関税政策という大きな外的ショックが輸出や為替市場に影響を与えたものの、企業業績や雇用環境の改善、賃金上昇を背景に、緩やかな回復基調を維持した一年でした。

しかしながら当金庫の主力営業地域においては、輸出産業が少なく相互関税の影響こそ限定的でしたが、原材料やエネルギーコストの上昇、構造的な人手不足と人件費の上昇など、コストの増加分を容易に価格転嫁できない状況が続いており、景気回復の波に乗り切れていないのが実状です。さらに、年度末にかけて中東情勢が一層不安定となり、影響の長期化も懸念されるところです。基幹産業である農業では、令和の米騒動とも言われる米の在庫不足、価格高騰で米生産者にとっては実り多き年となりましたが、引き続き多くの生産者が輸入飼料や燃料費の高騰など物価高の影響を大きく受けております。

このように、中小企業及び個人事業主にとって厳しい経済環境が続く中、当金庫はお客様の経営課題を共有し、地域金融機関として最も重要な役割である円滑な資金供給に加え、販路拡大支援、創業・新事業支援、経営改善支援、事業承継支援など、それぞれのお客様に寄り添ったご支援に努め

ました。その結果、前期と比べ、貸出金が25億円、2.4% 増加の1,040億円、預金が13億円、0.5% 増加の2,373億円となり、貸出金は10期連続、預金は20期連続の増加となりました。長きにわたり地域のお客様のご支持を頂けていることに感謝申し上げます。

また、こうした地域からの期待に応え続けていくためには、当金庫自身が将来にわたって十分な経営体力・収益基盤を備えなければなりません。収支面では、「金利のある世界」が定着したことで預金利息が大幅に増加しましたが、収益の柱である貸出金利息に加え、金利上昇を捉えた運用により有価証券利息配当金も増収となり、コア業務純益が8億98百万円、当期純利益が5億43百万円といずれも前期比増益とすることができました。利益計上による内部留保の増加などにより、自己資本比率も前期末比0.29ポイント上昇の12.37%となり、当金庫の経営体力は着実に強化されております。

佐原信用金庫は、健全経営と地域密着を不変の経営方針として堅持し、「お客様から信頼される」、「お客様に愛される」、そして「お客様のお役に立つ」信用金庫を目指しております。令和8年度におきましても、金融仲介機能の強化、適切な発揮に努め、お客様に寄り添ったご支援で地域の持続的発展に貢献してまいります。今後とも何卒一層のご支援、お引き立てを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和8年6月

理事長　小森哲

事業展望及び対処すべき課題

当期は、令和6年度からスタートした3か年計画「しんきん未来を拓く変革への挑戦（2024年度～2026年度）」の中間年度として、「金融仲介機能の強化・発揮」を最重要課題とし、これを支える「収益基盤の強化」、「人的基盤の強化」、「経営管理態勢の強化」に全力で取り組んでまいりました。

最重要課題である「金融仲介機能の強化・発揮」については、お客様の資金繰り支援やお取引先企業の本業支援（創業・新事業支援、販路拡大支援、経営改善支援等）に取り組み、創業・新事業支援については、34先、7億55百万円の金融支援を実行しました。今後も「創業セミナー」、「香取創業塾」、「佐原のあしたプロジェクト」に参画し、佐原地区におけるローカルビジネスの創出に取り組みます。また、農業経営アドバイザーの資格を有する職員が中心となって、新規就農者への経営支援にも注力してまいります。

販路拡大支援については、137件の実績を挙げることが出来ました。今後も当金庫主催の「香取の杜地域産品商談会」、県内信用金庫合同開催の「しんきん食の商談会 inCHIBA」など、当金庫のネットワークを活用した支援に取り組んでまいります。

経営改善支援では、経営者に寄り添った伴走支援を行って収支改善に努め、国や県などへの補助金申請のご相談にも引き続き対応してまいります。

このように、お客様や地域の皆様のニーズを的確に捉えて、広く金融仲介サービスを提供できるチャネルを整備・提供してまいります。

「収益基盤の強化」については、貸出金残高が10期連続増加、貸出金利息も4期連続増加し、コア業務純益、当期純利益ともに前期比増益となるなど、

着実に向上しております。なお当期は、日本銀行の政策金利引上げに伴って貸出金利の引上げを行いました。翌期も日本銀行による追加利上げが想定されておりますので、引き続き、丁寧な金利引き上げ交渉を行い、適正な貸出金利の確保に努めてまいります。

有価証券の運用環境は金利リスクや地政学リスクにより、非常に厳しい状況が続いておりますが、当金庫では、20年国債の早期売却により評価損拡大を回避し、10年国債についても適切なメンテナンスを行うなど、金利のある世界に移行した債券運用において、金利上昇のメリットを享受できるポートフォリオを構築しております。引き続き適切なリスク管理と効率的な運用を行ってまいります。

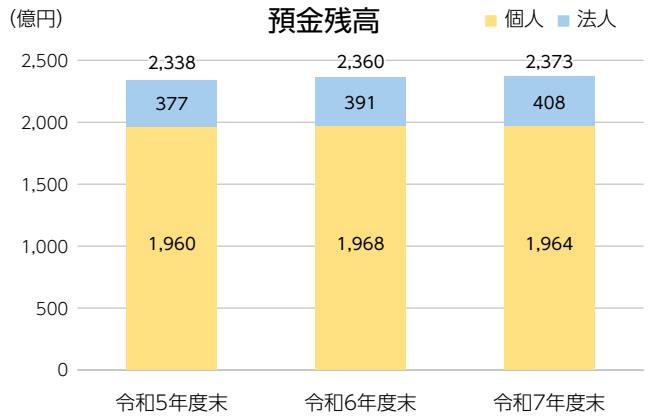
これらの課題を解決するためにも、「人的基盤の強化」と「経営管理態勢の強化」は重要であり、人的基盤の強化については、女性の活躍推進など計画的な人材の育成により、職員一人一人の業務推進能力の向上を図ってまいります。

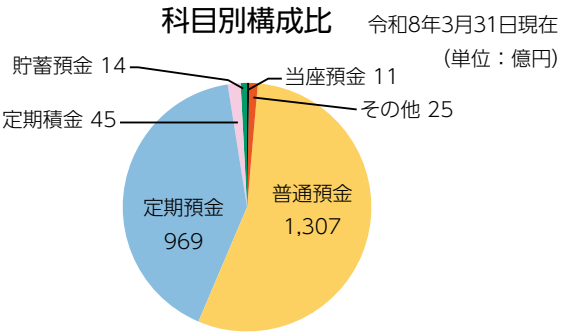
また、「経営管理態勢の強化」については、コンプライアンスが徹底された明るい職場作りに努めるほか、国際的な課題でもあるマネロン・テロ資金供与対策にも引き続き適切に対応してまいります。

令和8年度は、3か年計画の最終年度であるとともに、令和11年3月に迎える当金庫創業100周年を見据えた次期3か年計画に繋がる重要な年度であることから、その計画の達成に向け、役職員一同全力を挙げて取り組み、一層の経営基盤の強化に努めてまいります。

1．預金

2,373億円（前期比＋13億円）

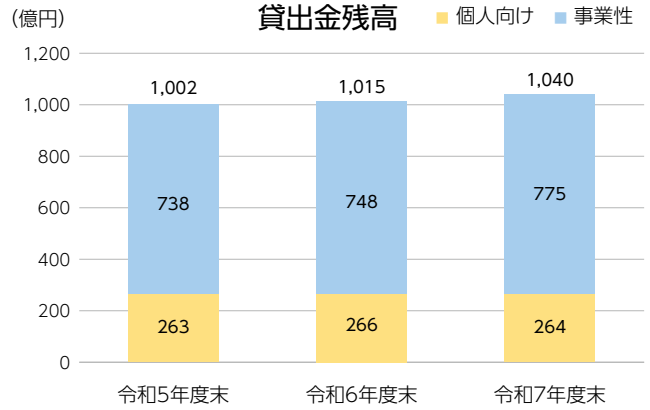


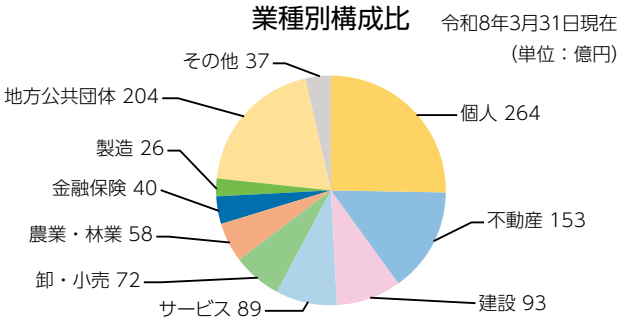


個人預金4億円減、法人預金17億円増、前期比13億円、0.5％増となり、当金庫過去最高の2,373億円となりました。

2．貸出金

1,040億円（前期比＋25億円）

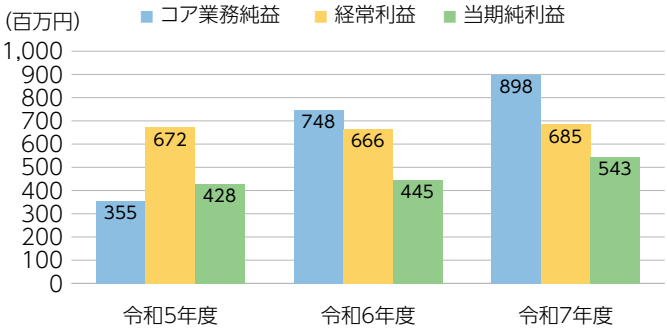




事業性貸出は、各業種への資金ニーズに適切かつ積極的に取り組んだことにより、サービス業や農業、卸・小売業、地方公共団体向け融資の増加から前期比27億円増加しました。消費資金などの個人向貸出は前期比2億円減少となりましたが、全体の貸出金残高は前期比25億円、2.4％増となり、当金庫過去最高の1,040億円となりました。

3．収支

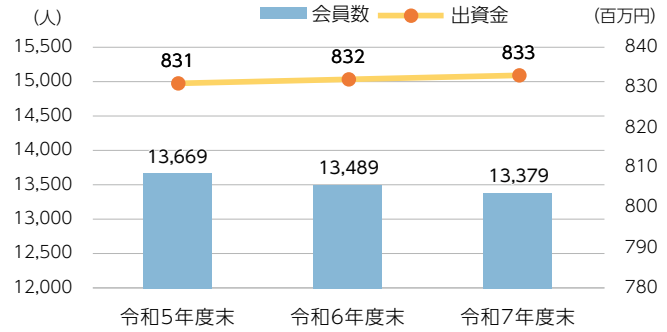
コア業務純益　8億98百万円
経常利益　6億85百万円
当期純利益　5億43百万円



貸出金の増加に加え、効率的な有価証券運用などにより、毎期着実に利益を計上しております。

4．会員数、出資金

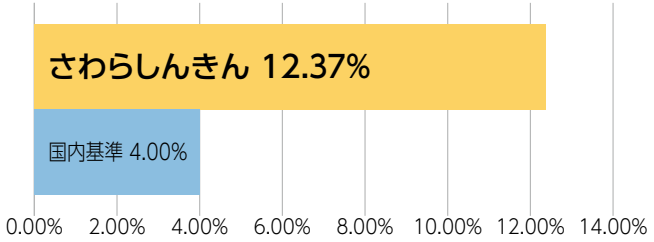
会員数 13,379人　出資金 8億33百万円



会員数は相続による脱退等により減少しましたが、出資金額は増加しております。

5．自己資本比率

自己資本額	10,436百万円	×100	＝	自己資本比率
リスク・アセット等	84,350百万円			**12.37%**



令和7年度末の自己資本比率は12.37％と前期比0.29ポイント上昇し、国内基準の4％を大きく上回っています。

6．不良債権比率

不良債権額	3,169百万円	×100	＝	不良債権比率
総与信残高	104,507百万円			**3.03%**

（単位：百万円、％）

区　分	開示債権残高	保全額	保全率
不良債権	3,169	2,898	91.46
破産再生債権及びこれらに準ずる債権	680	680	100.00
危険債権	2,339	2,105	90.01
要管理債権	148	112	75.27
三月以上延滞債権	-	-	-
貸出条件緩和債権	148	112	75.27
正常債権	101,338		
総与信残高	104,507		

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権額は、前期比11百万円増加しましたが、不良債権比率は3.03％と低い水準を維持しております。

第98期 貸借対照表

令和8年3月31日現在

（単位：百万円）

科目	金額
（資産の部）	
現金	**1,947**
預け金	**72,466**
買入金銭債権	**182**
有価証券	**68,625**
国債	35,806
地方債	1,696
社債	11,533
株式	1,384
その他の証券	18,204
貸出金	**104,004**
割引手形	44
手形貸付	7,760
証書貸付	94,431
当座貸越	1,767
その他資産	**2,020**
未決済為替貸	94
信金中金出資金	1,315
未収収益	446
その他の資産	163
有形固定資産	**1,190**
建物	244
土地	786
リース資産	36
その他の有形固定資産	123
無形固定資産	**7**
ソフトウェア	1
その他の無形固定資産	5
繰延税金資産	**127**
債務保証見返	**419**
貸倒引当金	**△757**
（うち個別貸倒引当金）	（△585）
資産の部合計	**250,234**

科目	金額
（負債の部）	
預金積金	**237,355**
当座預金	1,157
普通預金	130,716
貯蓄預金	1,406
通知預金	1,109
定期預金	96,915
定期積金	4,586
その他の預金	1,462
その他負債	**680**
未決済為替借	79
未払費用	296
給付補塡備金	3
未払法人税等	34
前受収益	68
払戻未済金	11
金融派生商品	27
リース債務	47
資産除去債務	11
その他の負債	100
賞与引当金	**89**
役員賞与引当金	**10**
退職給付引当金	**571**
役員退職慰労引当金	**287**
偶発損失引当金	**142**
債務保証	**419**
負債の部合計	**239,557**
（純資産の部）	
出資金	**833**
普通出資金	833
利益剰余金	**9,444**
利益準備金	832
その他利益剰余金	8,612
特別積立金	7,500
（うち経営安定化積立金）	（5,000）
当期未処分剰余金	1,112
処分未済持分	**△0**
会員勘定合計	**10,277**
その他有価証券評価差額金	418
繰延ヘッジ損益	△19
評価・換算差額等合計	**398**
純資産の部合計	**10,676**
負債及び純資産の部合計	**250,234**

第98期 損益計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

（単位：千円）

科目	金額	
経常収益		**6,204,183**
資金運用収益	**3,590,636**	
貸出金利息	1,965,415	
預け金利息	489,754	
有価証券利息配当金	1,103,792	
その他の受入利息	31,674	
役務取引等収益	**326,745**	
受入為替手数料	103,723	
その他の役務収益	223,021	
その他業務収益	**1,250,485**	
国債等債券売却益	1,107,589	
国債等債券償還益	106,681	
その他の業務収益	36,214	
その他経常収益	**1,036,315**	
償却債権取立益	7,096	
株式等売却益	1,022,261	
その他の経常収益	6,957	
経常費用		**5,519,182**
資金調達費用	**464,066**	
預金利息	459,733	
給付補塡備金繰入額	2,476	
その他の支払利息	1,856	
役務取引等費用	**342,290**	
支払為替手数料	9,693	
その他の役務費用	332,597	
その他業務費用	**1,493,054**	
国債等債券売却損	1,429,251	
国債等債券償還損	61,872	
その他の業務費用	1,930	
経費	**2,281,886**	
人件費	1,472,012	
物件費	726,759	
税金	83,114	
その他経常費用	**937,884**	
貸倒引当金繰入額	42,886	
貸出金償却	43,843	
株式等売却損	731,696	
その他の経常費用	119,458	
経常利益		**685,000**
特別損失		**9,943**
固定資産処分損	838	
減損損失	9,105	
税引前当期純利益		**675,057**
法人税、住民税及び事業税	93,530	
法人税等調整額	37,674	
法人税等合計		**131,204**
当期純利益		**543,852**
繰越金（当期首残高）		**568,685**
当期末処分剰余金		**1,112,538**

剰余金処分

（単位：円）

科　　目	金　　額
当　期　未　処　分　剰　余　金	**1,112,538,568**

これを次のとおり処分いたします。

利　益　準　備　金	822,500
経　営　安　定　化　積　立　金	500,000,000
普通出資に対する配当金（年３％）	24,701,917
計	525,524,417
繰　越　金　（　当　期　末　残　高　）	**587,014,151**

以上のとおりご報告いたします。
令和8年6月22日

佐原信用金庫

理事長	小森　哲
専務理事	遠山和廣
常務理事	櫻井　明
常勤理事	片野邦雄
常勤理事	木川　実
常勤理事	飯田和幸
常勤理事	原　美晴
常勤理事	椎塚裕也
理事	坂本文夫
理事	山本一郎
理事	石井良典

上記監査の結果、適正なものと認めます。

常勤監事	富澤文彦
監事	朝日良平
監事	久保木一三
監事	白鳥富士男

＊監事　朝日良平は、信用金庫法第32条第5項に規定する員外監事です。

第98期 通常総代会決議及び報告事項

令和8年6月22日

会員各位

千葉県香取市佐原イ525番地
佐原信用金庫
理事長　小　森　　哲

本日開催の当金庫第98期通常総代会における決議及び報告事項につきまして、下記のとおりご通知申し上げます。

記

決議事項

第1号議案　第98期（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）剰余金処分案の承認について
原案のとおり承認されました。

第2号議案　定款第15条に基づく会員の除名について
原案のとおり承認されました。

第3号議案　理事10名の選任について
小森哲、遠山和廣、片野邦雄、木川実、飯田和幸、原美晴、椎塚裕也、坂本文夫、山本一郎、石井良典の各氏が選任され重任いたしました。

第4号議案　監事4名の選任について
富澤文彦、朝日良平、久保木一三、白鳥富士男の各氏が選任され重任いたしました。

第5号議案　役員退職金の支給について
櫻井明氏への役員退職金の支給が承認されました。

報告事項　第98期（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）業務報告、貸借対照表、損益計算書について
上記の内容を報告いたしました。

総代会制度

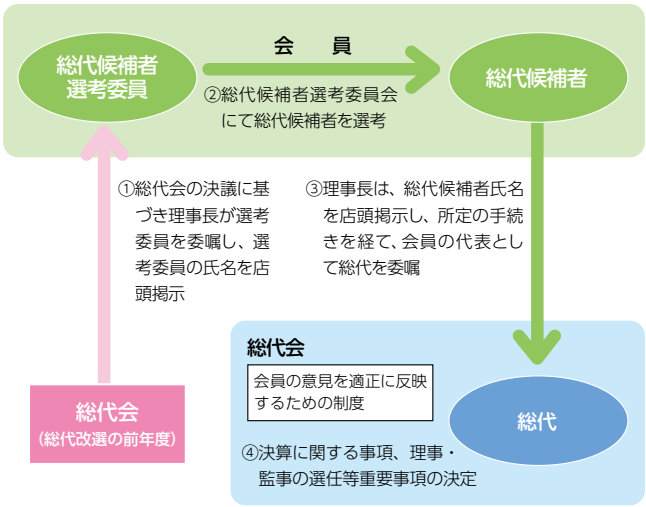
1．総代会制度について

総代会は会員のみなさまのご意見・ご要望を経営に反映するための「開かれた制度」であり、「総代の選出」に関しては、会員のみなさまの中から適正な手続きを経て、総代にふさわしい人格・見識を有している方が選ばれ、「総代会の運営」に関しては、会員のみなさまのご意向を最大限に尊重した運営が行われております。

当金庫では、このほかさまざまな機会を通して、総代や会員のみなさま、利用者、地域のニーズを汲み上げ、経営・日常業務に反映させるとともに積極的な情報の開示に努めております。

2．総代会の仕組み

総代会は、会員のみなさま一人ひとりの意見を反映するための開かれた制度です。



3．総代とその選任方法

（1）総代の任期・定数

総代の任期は3年で、定数は定款により90人以上120人以内と定められております。総代は、その就任時点で満80歳を超えない会員とします。

なお、令和8年3月31日現在の総代数は100人で、会員数は13,379人です。

（2）総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

そこで、総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

①会員の中から総代候補者選考委員を選任する。

②その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。

③その総代候補者を会員が信任する。

（異議があれば申し立てる。）

（3）総代候補者の選考基準

①総代候補者は、当金庫の会員でなければならない。

②総代候補者の選考基準は次のとおりとする。

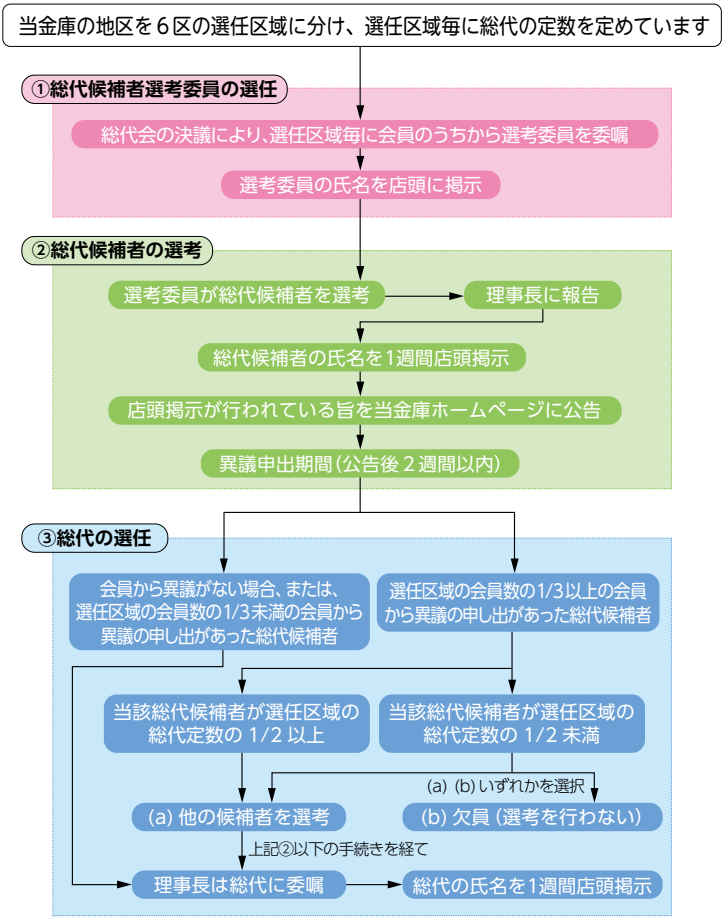
・総代としてふさわしい見識を有している者

・良識をもって正しい判断ができる者

・人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している者

・その他総代候補者選考委員が適格と認めた者

総代が選任されるまでの手続きについて



・上記フロー図は、当金庫定款において定める総代選任手続きに基づいております。

営農管理システムセミナーの開催（5月～6月）

近年の猛暑や資材・原材料価格の高騰を受け、農業者の生産性向上や経営効率化、円滑な事業承継、DX化促進を目的に「営農管理システムセミナー」を開催しました。



事業承継個別相談会の開催（6月、7月、3月）

取引先企業の円滑な事業承継を支援するため、事業承継個別相談会を本店、成田支店、佐倉支店、作草部支店で開催しました。今年度も開催予定ですので、事業承継について詳しく知りたい、興味があるお客様はご参加ください。



無料法律相談会の開催（6月、9月、12月、3月）

遺産相続、事業経営や日常生活におけるトラブル等について、法律の専門家である弁護士による無料法律相談会を開催しました。本年度も定期開催いたしますので、営業店または総務部お客様相談室(0478-54-2144)へお申し込みください。



佐原のあした PROJECT の共催（7月～ 3月）

香取市佐原地域でのローカルビジネスについて興味、関心のある方に向けてビジネススクール「佐原のあした PROJECT」を開催しました。「地域を元気に」をテーマに株式会社エヌアイデイと共に参加者のビジネスプラン実現をサポートしています。



株式会社日本政策金融公庫との「業務協力に関する覚書」の更改（7月）

株式会社日本政策金融公庫と平成18年に締結した「業務協力に関する覚書」を更改し、支援内容をこれまでの農業分野から創業、企業再生支援等まで拡大することで、中小企業の伴走支援体制を強化しました。



献血への協力（7月、1月）

社会貢献活動の一環として、本店駐車場に移動献血車を配車し、地域のみなさまとともに献血に協力しました。各店においてもそれぞれの地区の献血に協力しました。



創業セミナー・創業スクールの共催（8月～ 9月）



香取市、佐原商工会議所、香取市商工会、千葉県中小企業診断士協会、千葉県信用保証協会と連携して「創業塾ステップアップセミナー」や「香取創業塾」を開催し、当金庫からも職員を講師として派遣する等、創業に必要な知識や公的支援制度について情報提供しながら地域で創業する事業者を応援しました。

佐原の大祭秋祭りへの参加（10月）



当金庫が NPO 法人まちおこし佐原の大祭振興協会の協力を得て開設した「佐原信用金庫ステージ広場」で、24名の職員が観光客の案内や物品販売等を行いました。

しんきん食の商談会 in CHIBA（10月）
香取の杜地域産品商談会（11月）の開催



千葉県内5信用金庫が連携して取引先企業の販路拡大を支援する「2025 しんきん食の商談会 in CHIBA」を開催しました。
また、香取市周辺の農業生産者の販路拡大支援、飲食店やスーパーの特色ある仕入れ支援を目的とした「香取の杜地域産品商談会」を開催しました。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）千葉支部との連携協定（10月）

千葉県内の他信用金庫と共に、JEED 千葉支部と「人材支援に関する連携協定」を締結しました。3月には JEED 運営のポリテクセンター千葉にて信用金庫取引先企業による求職者向け合同企業説明会を開催する等、取引先企業の人材不足解消に取り組んでおります。



「4機関による出張相談会 in 香取市」の開催（12月）

それぞれの専門領域をもつ公的支援機関（千葉県事業承継・引継ぎ支援センター、千葉県中小企業活性化協議会、千葉県よろず支援拠点、千葉県信用保証協会）と連携し、ワンストップで対応する経営相談会を開催しました。



来店予約サービスの導入（3月）

お客様をお待たせすることなく、スムーズにご相談いただけるよう来店予約サービスを導入しました。
ご予約は当金庫のホームページや通帳アプリから24時間いつでも、営業時間内はお電話でもご予約を承っております。



1年のあゆみ

2025年

4月 ・2025年度入庫式（新入職員８名）

5月 ・「営農管理システムセミナー」を開催いたしました。

6月 ・第97期通常総代会を開催いたしました。

・本店営業部、成田支店、佐倉支店、作草部支店にて事業承継個別相談会を開催いたしました。（7月、3月にも開催）

・無料法律相談会を開催いたしました。（9月、12月、3月にも開催）

7月 ・第4期「佐原のあした PROJECT」を（株）エヌアイデイと共催いたしました。

・（株）日本政策金融公庫との中小企業支援に係る「業務協力に関する覚書」を更改いたしました。

・本店にて献血を実施いたしました。（1月にも実施）

・佐原の大祭夏祭りに参加いたしました。

8月 ・香取市、佐原商工会議所、香取市商工会、千葉県中小企業診断士協会、千葉県信用保証協会と連携して「創業塾ステップアップセミナー」や「香取創業塾」を開催いたしました。

10月 ・佐原の大祭秋祭りに参加いたしました。

・千葉県内５信用金庫が連携して「しんきん食の商談会 in CHIBA」を開催いたしました。

・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）千葉支部と「人材支援に関する連携協定」を締結いたしました。

11月 ・経済産業省が定める DX 認定制度において、「DX 認定事業者」に認定されました。

・「香取の杜地域産品商談会」を開催いたしました。

12月 ・千葉県事業承継・引継ぎ支援センター、千葉県中小企業活性化協議会、千葉県よろず支援拠点、千葉県信用保証協会と連携して経営相談会を開催いたしました。

2026年

3月 ・来店予約サービスを導入いたしました。

店舗／店舗外現金自動設備

店舗一覧

	所在地	電話
本　　店	香取市佐原イ525	0478(54)2120
本宿支店	香取市佐原イ525（本店営業部内）	0478(54)2120
小見川支店	香取市小見川319	0478(82)3121
多古支店	香取郡多古町多古2752-2	0479(76)2411
笹川支店	香取郡東庄町笹川い5561-37	0478(86)0533
神崎支店	香取郡神崎町神崎本宿1927	0478(72)2121
下総支店	成田市高岡133-1	0476(96)2211
大栄支店	成田市伊能562-1	0476(73)6121
潮来支店	潮来市潮来463-2	0299(62)2564
麻生支店	行方市麻生106-4	0299(72)0761
鹿島支店	鹿嶋市宮中1丁目8-21	0299(82)3411
都賀支店	千葉市若葉区都賀4丁目8-13	043(232)1341
作草部支店	千葉市稲毛区作草部2丁目2-50	043(254)6811
成田支店	成田市東町601-4	0476(23)1711
佐倉支店	佐倉市鏑木町2丁目6-3	043(486)1131
本店営業部北出張所	香取市北1丁目6	0478(54)2177

店舗外現金自動設備（キャッシュコーナー）

本店営業部	香取市役所出張所
本店営業部	本宿出張所
本店営業部	セイミヤ佐原玉造店出張所
本店営業部	セイミヤ佐原牧野店出張所
本店営業部	MEGA ドン・キホーテ UNY 佐原東店出張所
潮来支店	牛堀ショッピングセンター出張所
潮来支店	延方出張所

会員のみなさまへ

当金庫に対するご意見・ご要望は、お取引店もしくは下記担当部までお申し出ください。

佐原信用金庫　総務部　TEL 0478（54）2121

UD FONT

VEGETABLE OIL INK

この冊子は、環境にやさしいインキによって印刷し、どなたにも読みやすい書体でデザインしています。

このまちといきていく

